

# 『生意気だけど毎日フェラで起こしてくれる義妹との朝』ASMR 脚本

## ◆登場人物

・咲（さき）

・親の再婚でできた義理の妹（主人公の父親と、咲の母親が再婚した）

・突然できた兄（主人公）の存在に戸惑い、顔を合わせれば生意気な態度を取ってくる。

・根は素直な性格で、内心主人公とも仲良くしたいと思っている。フェラで起こそうと思ったのも、強引に起こすよりかはそっちの方が距離を縮められるかなと思ったため。

11		【生意気だけど毎日フェラで起こしてくれる義妹との朝】
12		
13		「毎朝の習慣（フェラ／口内射精）」
14		
15		場所 … 主人公の部屋
16		
17		
18		・ 朝、主人公を起こしに部屋へと入ってくる咲。
19		
20	⑤中	SE:扉を開く音
21		
22		「ねえ、もう朝なんだけど。お母さん、呼んでるよー」
23		
24	⑤中→⑦近	・ 咲、枕元まで近づいてくる。
25		SE:足音
26		
27	⑦近	「ほら、起きてって…」
28		
29		・ 咲、主人公の体を揺さぶる。
30		SE:衣擦れの音
31		・ 主人公、一度目を開けて、また寝ようとする。
32		
33		「あっ…今、起きたでしょ！ 二度寝許さないからね！
34		なんでこの人は毎朝毎朝…起こすこっちの身にもなって欲しいんだけど…」
35		
36		「ほら起きなさいって…!」
37		
38		「はあ…サイテー…これでもまだ寝ぼけてるなんて…
39		もう…今日もしろってことお？」
40		
41		「…しょうがないなあ」
42		
43		「本当、いい身分だね。お母さんも呼んでるってのに、
44		義妹にこんなことさせようなんて」
45		
46	⑦近→⑥近	・ 咲、主人公のベッドの上へ
47		SE:ベッドが軋しむ音
48		
49		(下側)
50		・ 咲、主人公のズボンとパンツを降ろす。
51		SE:衣擦れの音
52		

⑥接

「こっちもいつも通り…こんな大きくして…」

・咲、主人公の性器の匂いを嗅ぐ。

SE:ベッドがきしむ音

⑥近

(下側)

「それにここも…くんくん…んん、汗くさあ…ちゃんと洗ってんの？  
それとも寝てる間にこんなになるわけ？　くんくん…すう…ふう…」

「はあ…本当、この匂いだけは慣れないわ…はあ…

よし、さっさと抜いちゃうからね…ちゅっ…」

・咲、フェラ開始

※はじめは舐めるといよりかはキス中心で。

「ちゅっ…ちゅっ…ちゅっ、んっ…ちゅっ…ちゅりゅ、んちゅ…ちゅっ…ちゅっ。  
ちゅる…ちゅっ…んちゅ…れろれろ…ちゅっ…」

「ふう…やつぱ、ここらへんを責められるのが弱いのかな？　びくんってなるし  
年下にされるがままになって…惨めとか思わないのかな？」

・咲、除々に舐めの比率を上げていく。

「ちゅっ…ちゅっ、ちゅりゅ…れろれろ…んっふっ…れろ…ちゅっ…れろろ、  
ふっ…ん、れろれろ…ちゅっ…」

⑥接

「仕方ない。もう時間も無くなってきたし…そろそろ本格的にやるか…」

・咲、性器を口に含んでフェラ開始

⑥近

(下側)

「んんっ…んく…ふう、んん…んじゅ、じゅりゅ、じゅっ…じゅぶっ…  
じゅぶっ、じゅぶっ、じゅぼっ、じゅりゅぶ、じゅぶぶぶ…」

「じゅぼっ…じゅぼっ…じゅぼっ…ん、れろれろれろ…ずずっ  
んじゅ…じゅぶっ…じゅぼ、じゅぼ、じゅぼ、じゅりゅりゅっ！」

「ふはあっ…はあ…はあ…ほんと大きすぎ…」

「じゅぼ、じゅりゅ…んちゅっ、毎朝こうやって起こす側の身にもなってほしいんだけど…  
ちゅ、じゅりゅ…」

「ここまでされたんだからそろそろ起きなよー」

- ・主人公、動く気なし
- ・間

「って、終わるまで起きる気なしかい」

- ・咲、激しめにフェラ

「んぐっ…んじゅ…じゅぼっ、じゅぼっ…ぐぼぐじゅっ…んっ…ぐっ…

じゅぼ、じゅぼ…んじゅぼ…じゅぼ…じゅりゅりゅ…んぐ…んっ…ふう…」

- ・咲、我慢汁が出てきたのに気づく。

「ん…やっど、お汁が出てきた…んっ、じゅぼ、じゅりゅ…じゅっ、ちゅうっ、  
ふっ…れろれろ…んじゅ…れろれろ…ふうっ…んっ…ちゅうっ…ちゅうちゅう」

「それに…ふう…また大きくなってきたし…

ここを起き上がらせるくらいなら、体を起こせっての…」

「んじゅ、じゅりゅ…じゅ、じゅ…んじゅ、じゅぼ…じゅぼ、じゅりゅりゅ  
じゅぶ、ちゅ…れろれろ、じゅちゅりゅ、ちゅりゅ…じゅぼ…んじゅ…」

- ・主人公、激しいフェラで身じろぎ

SE:ベッドがきしむ音

- ・咲、性器を口に含みながら。

- ・咲、性器から口を離し。

SE:ベッドがきしむ音

「はあ？ ちょっと動かないでほしいんだけど。

抜いてほしいならこっちのやりやすいようにしてて！」

「はあ…本当、自分勝手過ぎでしょ」

- ・咲、主人公の亀頭を手でねぶりながら

SE:唾液たっぷりの亀頭を手でねぶる音（ぐちょねちょ）

「あんたはさっさと出せばいいの。私も学校行かなくちゃいけないし、  
お母さん、朝ごはん用意して待ってるんだから」

「ほら、急いで…私の口で…さっさとイッて。それくらいなら、あんたでもできるでしょ」

⑥ 近（下側）

・ 咲、激しめフェラ開始

SE:ベッドがきしむ音 ※以下継続

「はむっ…んじゅ、じゅぼ、じゅぼじゅぼじゅりゅりゅ…んじゅ…じゅぼっ、じゅぼっ！  
ふっ…くっ…じゅぼ、じゅぼっ…じゅりゅりゅりゅ…！ ぐちゅっ、ちゅぶっ、  
ちゅうつ、ちゅうつ…ちゅりゅりゅりゅるっ！ れろお、れろお…じゅりゅぶちゅちゅ」

「もうイキそうなんでしょ？ だったら、さっさと出しちゃって…我慢とかしないで、  
じゅぼ、時間とかかけないで、れろれろ、早くっ！ 早くうつ！ じゅちゅっうつっ！」

「はあっ…ふっ…んじゅ、じゅちゅ、ちゅるちゅるっ…！ んつぶっ、んじゅ…じゅりゅ…  
大きくなってきた…そろそろ…そろそろでしょ？ んじゅ、じゅりゅ、じゅぶっ…ちゅう」

「ほら、出して出して…さっさとあんたの精子…出しちゃえ…んじゅ、ぶじゅ…じゅぼ…  
出すもの出してえ…さっさと起きてよ！」

「んっふう…じゅぼじゅぼ…昇ってきたんだね…それじゃあ…じゅっ…じゅう…  
じゅうううう…っ！ んっ！ んんっ…じゅうううう…っ！」

・ 主人公、咲に口内射精

SE:ベッドがきしむ音 ※終了

「…んんっ！ んんんっふううつ！ んっ…ふっ…んんっ…ふう…ふう…」

・ 咲、精子をこっくん

「んっ…んんっ…ぐっ…ごく…ごく…んっ、んぐ…ごく…ごくん、んぐ…ふう…  
ぷはあ…はあ…はあ…朝から出しすぎ…」

「1日毎にどんどん量増えてない？ 出してと言ったけど…  
制服、汚れたらどうするつもりだったのよ…ぷはあ…ん？」

⑥ 接

・ 咲の母、主人公と咲を呼ぶ。

・ 間

「はーい、わかってるってお母さん！ 今お兄ちゃ…あの人が、起きたから！  
もう降りる…！」

⑥ 近

179 ・ 咲、思わず主人公を兄と呼びかけたことに動揺しつつ、ベッドを折る。  
180 SE:ベッドがきしむ音

⑦中

「…何？ お兄ちゃん？ 聞き間違いでしょ。私が言うわけないし」

「…ていうか、別にお兄ちゃんとか言っても問題なくない？  
義理とは言え、一応あんたは私の兄なんだし」

・ 主人公、お兄ちゃんと呼んで欲しい的なことを言う。  
・ 間

「は？ いや、だからと言って呼ぶわけないじゃん！ 何言ってるの？」

「せめてそう言うのは、ちゃんと自分で起きれるようになってから言って」

「あとそんなくたらないこと言う暇あったら、早く着替えて！  
朝ごはん、もう冷めちゃうってお母さんも言ってたでしょ！」

「はあ…私、先に下に降りてるから、  
さっさとあんたも着替えて降りてきなさいよ」

(小声で)

「はあ…ほんと…私がいないとダメなんだから…お兄ちゃんは…」

⑦中→⑤中

SE:足音

・ 間

SE:扉を開ける音

SE:去っていく足音

・ 生意気だけど毎日フェラで起こしてくれる義妹との朝 END